

**論題:** 中央銀行と民間部門との双方向コミュニケーション

**講演:** 木村 武 (日本銀行)、青木浩介 (LSE)

**[要旨]**

中央銀行と民間部門——特に金融市場——との間の双方向コミュニケーションが、マクロ経済の変動にどのような影響を及ぼすかについて、理論モデルを用いて分析する。様々な情報を持った市場参加者の行動が資産価格に反映される過程を、アイランド・エコノミー・モデルを用いて描写し、コミュニケーションの機能度が、物価安定（ノミナルアンカー）に対する市場参加者の信任に大きく依存することを明らかにする。また、中央銀行は、金融市場との双方向コミュニケーションを強化することで、経済情勢判断の不確実性の程度を抑制できることも示す。